

蒼空

溝辺中学校進路だより
第34号
令和5年12月15日(金)

面接練習で自分の可能性を引きだそう

いよいよ面接練習がはじまりました。今まで溝辺中学校で身に付けてた挨拶など礼儀作法を試すときです。声の大きさ、目線、指先、話す内容、身なりなどなど…。今までの学校生活でどのように過ごしてきたかが試されます。

「練習を本番のように」「本番では練習のように」することが大切です。この機会に、普段の挨拶や言動をもう一度見直してみましょう。普段の挨拶や言動に自信をもつことができる状態にしておけば、本番の面接は普段通りに臨めばいいわけです。

そうとはいえ、面接には面接のルールやマナー、受け答えなどがあるので、面接練習を通して身につけていきましょう。

そして、今の自分が思っている限界を超えられるように頑張りましょう。3年生のこの時期に自分の限界を超える経験ができることが、自分の希望する進路をつかむための大きな自信につながっていくのです。また、自分の持っている力の幅を今以上に広げることで、さまざまな場面に柔軟に対応する力を身に付けることができます。さあ、面接練習にチャレンジしましょう！



面接でよく質問される内容8選

1 志望動機

志望動機は、受験生がその高校を選んだ理由や目的を聞かれる質問です。面接官は、志望動機を通じて受験生の目標や価値観を理解し、その高校での適性を判断します。志望動機を考える際には、学校の教育方針や特色、クラブ活動、進学実績など、具体的な要素を取り入れるとよいでしょう。志望動機を述べる際は、自分の言葉で素直に伝えることが大切です。熱意を持って自分の夢や目標を語ることで、面接官に良い印象を与えることができます。

2 高校に入学してからやりたいこと

この質問は、受験生が高校生活でどのような活動に取り組みたいのか、目標や目指す姿を把握するために聞かれます。面接官は、受験生の学校生活への意欲や、将来の展望に対する考え方を評価します。回答する際には、目標や活動内容を述べ、その目標に向かってどのように努力するか、具体性をもってアピールしましょう。

3 中学で頑張ったこと

この質問は、受験生がこれまでの学業や部活動、趣味などでどのような経験を積んできたのか、自分の努力や成果を認識しているかを確認する目的で聞かれます。また、頑張った結果にたどり着くまでの過程で、どのような困難があり、その困難をどのように受け止め、どのようにして乗り越えたのか、を見ている場合もあります。回答する際には、スト

ーリー性を意識し自分の成長や努力をアピールしましょう。ただし話に夢中になりすぎて要点を掴めない内容にならないよう注意が必要です。

4 将来の夢

将来の夢についての質問は、受験生がどのようなビジョンを持っているのか、その目標に向かってどのような計画や取り組みをしているのかを探る目的で聞かれます。面接官は、受験生の将来設計や意欲を評価し、その高校で学ぶ意義や目的を確認します。回答する際には、自分の夢に対する熱意や、その実現に向けた具体的なアクションを伝えることで、情熱や意欲をアピールしましょう。また、その高校がどのようにして自分の夢の実現に繋がるのかを明確に述べるのが重要です。

5 長所と短所

長所と短所に関する質問は、自己分析をチェックするために聞かれます。面接官は、受験生が自分の特性を理解し、どのように活かすか、また改善に努めているかを評価します。回答する際には、具体的なエピソードを交えて長所をアピールし、短所については改善策や努力を述べることで、成長意欲を示しましょう。

6 趣味や特技

趣味や特技についての質問は、受験生の人間性や多様な能力を把握する目的で聞かれます。面接官は、あなたがどのようなことに興味を持ち、熱心に取り組んでいるかを評価しています。回答する際は、趣味や特技に対する熱意を表現し、それが自分にどのような影響を与えているか、学校生活でどのように活かせるかを具体的に説明しましょう。また、自分の趣味や特技がその高校のクラブ活動や文化祭などのイベントでどのように役立つかをアピールすることで、適性や貢献度をアピールできます。

7 得意教科や不得意教科

得意教科や不得意教科に関する質問は、受験生の学習スタイルや自己認識、向上心を評価するために聞かれます。得意教科については、その理由や学んでいくうえでの楽しさ、具体的な学習方法などを述べることで、自分の学びに対する熱意や取り組み方をアピールしましょう。一方、不得意教科については、その原因や課題を明確にし、改善するためにどのような努力をしているかを説明することが重要です。課題に対する向き合い方や改善策を述べることで、自己成長の意欲や問題解決能力を示すことができます。

8 時事問題

時事問題に関する質問は、受験生の社会への関心や意識、思考力を評価する目的で聞かれます。面接で時事問題が出題されることは少なくありませんので、日常的にニュースをチェックし、自分の意見や考えをまとめる習慣を身につけましょう。質問された時事問題に対しては、まずは事実を正確に把握し、自分の意見や考えを述べる際には根拠を示すことが重要です。また、異なる視点や意見に対して理解を示す姿勢も評価されます。時事問題に関する知識や意見を持つことで、自分の社会性や柔軟な思考力をアピールすることができます。

(学研の家庭教師より)